

XAMPP でサーバを構築する

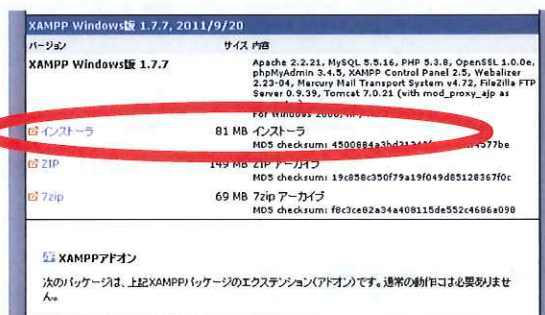
1. XAMPP のインストール

ダウンロード

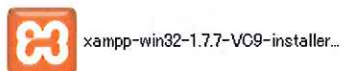
APACHE FRIENDS サイトの XAMPP のページ(<http://www.apachefriends.org/jp/xampp.html>) から「XAMPP for Windows」を選択します



インストーラをダウンロードします



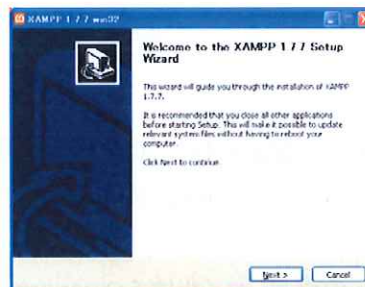
インストール



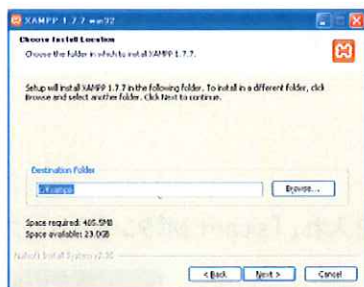
ダウンロードしたファイルをダブルクリックしてインストールを実行します



インストーラの言語は「English」のまま「OK」

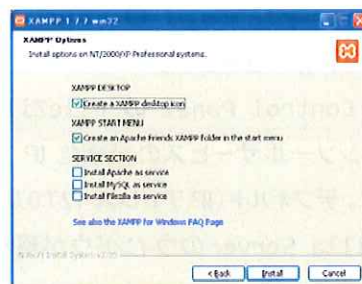


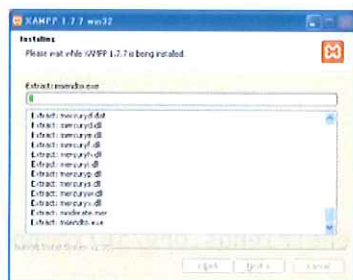
セットアップウィザード画面で「Next」



Destination Folder はデフォルト (c:\xampp) のまま作成します。「Next」

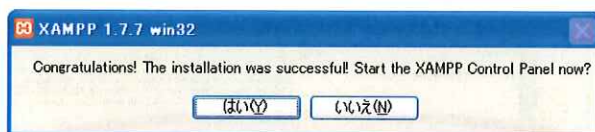
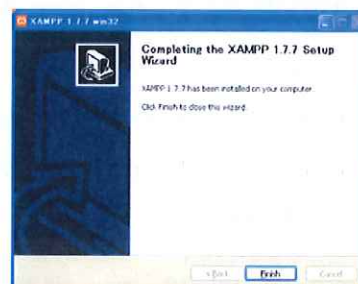
デスクトップアイコンとスタートメニューへの登録にチェックが入っている状態で「Install」





インストールが始まります

インストール完了画面で「Finish」



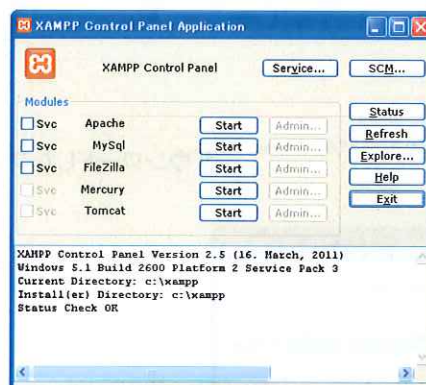
以上でインストール完了です

「はい」をクリックすると続けて XAMPP コントロールパネルを起動します

2. サーバの起動／設定

XAMPP の起動

スタートメニューまたはショートカットより
「XAMPP Control Panel」を起動する



Web サーバ（Apache）の起動／設定

XAMPP Control Panel の Apache の「start」ボタンをクリックし、running にする

Apache の設定ファイルは C:\xampp\apache\conf\httpd.conf

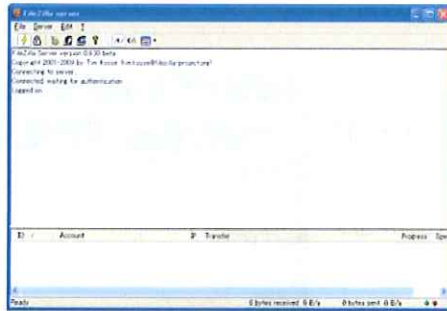
コンテンツを配置するディレクトリは C:\xampp\htdocs

FTP サーバ（FileZilla）の起動／設定

XAMPP Control Panel の FileZilla の「Svc」にチェックを入れ、「start」ボタンをクリックすると、状態が running になります。

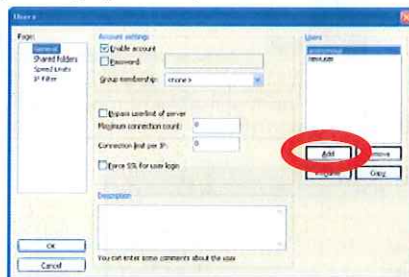
XAMPP Control Panel の FileZilla の「admin」ボタンをクリックすると、管理者コンソールサービスの接続先 IP アドレスとポート番号の設定ウィンドウが現れます。デフォルト(IP アドレス 127.0.0.1／ポート番号 14147)のまま「OK」で、FileZilla Server のウィンドウが現れます。





FTP ユーザの作成

[Edit]-[Users]を選択します

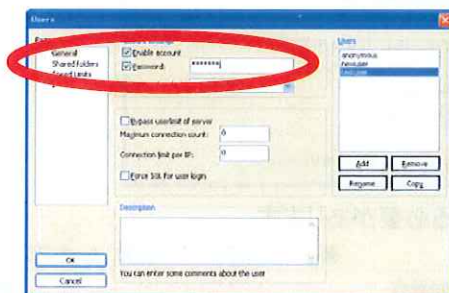


[add]ボタンをクリックし
ユーザを追加します
(例: testuser)

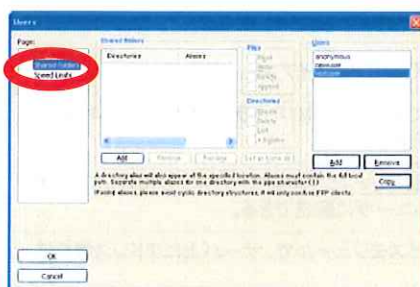


ユーザを選択し、General を選択し、

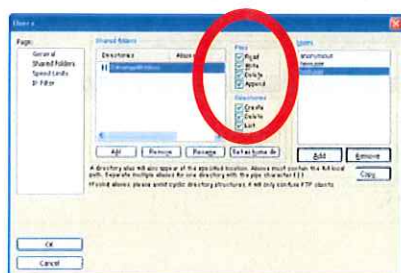
パスワードにチェックし、パスワードを登録します



Shared Folders を選択し



[add]ボタンをクリックし
フォルダを指定します
(例: c:\xampp\htdocs)

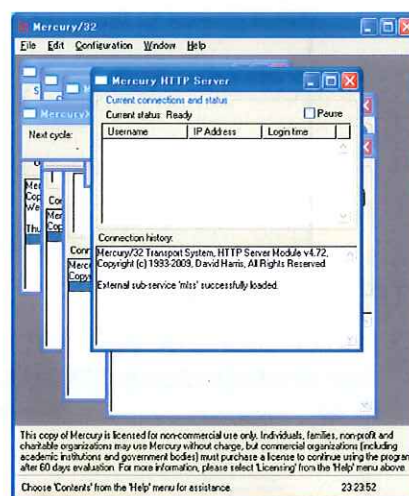


フォルダへのアクセス権限を設定します
(例: ファイル、ディレクトリに対してすべての権限)

メールサーバ (Mercury) の起動／設定

XAMPP Control Panel の Mercury の[start]ボタンを押下し、running にします

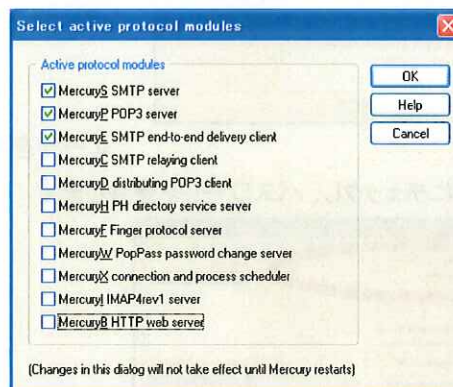
XAMPP Control Panel の Mercury の「admin」ボタンをクリックすると Mercury/32 の設定ウィンドウが現れます



起動するサービスの指定

[Configuration]－[Protocol modules...]を選択します

MercuryS SMTP server、
MercuryP POP3 server、
MercuryE SMTP end-to-end delivery client
だけを有効にし[OK]



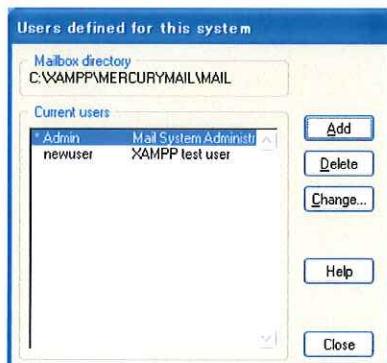
設定を有効にするには Mercury/32 を停止して再起動する必要があります

要否: ◎:必須 ○:選択 △:オプション

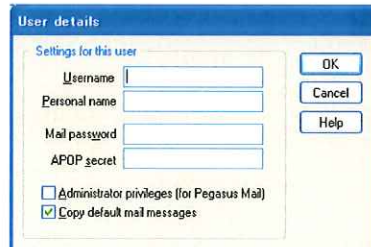
項番	プロトコル	機能概要	要否
1	MercuryS	メールを受信・配送する SMTP サーバ。ローカルユーザや他の SMTP サーバに配送するため SMTP クライアント(MercuryC/E)への配送を行う。	◎
2	MercuryP	クライアントからの POP3 でのメール読み出しに対応する POP3 サーバ。	○
3	MercuryE	送信先 SMTP サーバへ直接メールを配送する SMTP クライアント。	◎
4	MercuryC	配送先 SMTP サーバ(Smart ホスト)を指定して配送する SMTP クライアント。これを利用すると OP25B が適用されている環境でメール配送ができる。	◎
5	MercuryD	Fetchmail と同等の POP3 クライアント。予め設定された POP3 サーバにアクセスしてメールを読み出し、そのメールを指定されたローカルユーザに配送できる。	△
6	MercuryH	PH プロトコルをサポートするディレクトリサービスモジュールで、サーバ上にアドレス帳を持ちクライアントで利用できるようになる。	△
7	MercuryF	MercuryH と同様な使い方ができる？ 簡単な Finger サーバ。詳細不明。	△
8	MercuryW	POP3 のユーザパスワードをユーザ(クライアント)から変更を可能にするモジュール。	△
9	MercuryX	ダイヤルアップ環境などで MercuryMail を使用する場合の起動・停止を制御するスケジューラ。常時接続環境では不要。	△
10	MercuryI	クライアントからの IMAP4 でのメール読み出しに対応する IMAP4 サーバ。	○
11	MercuryB	メーリングリストを管理するための HTTP サーバ。	△

メールユーザの登録

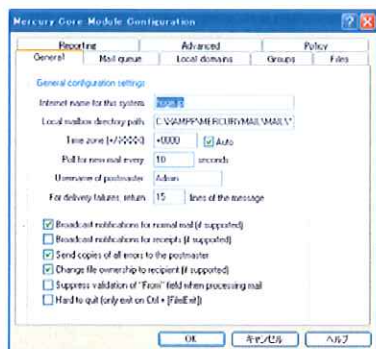
[Configuration]—[Manage local users...]を選択します



「add」ボタン押下でユーザを追加します



メールサーバのドメインを「localhost」から変更する

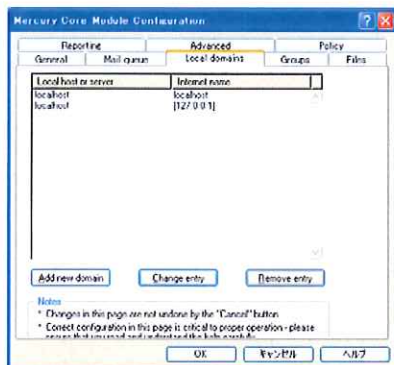


[Configuration]—[Mercury core module...]を選択します

Internet name for this systemを変更します

(例:hoge.jp)

Local domains タブの Add new domain でドメイン名の名前解決を登録します



(例:hoge.jp は localhost)

